

1. 高次脳機能障がい者に対する言語聴覚士の関わり

目次

1 言語聴覚士の視点から

○言語聴覚士とは？

ことばによるコミュニケーションは、人間が社会で生活していく上で必要不可欠なものです。言語聴覚士は、ことばによるコミュニケーションの問題がある方に自分らしい生活を構築するよう支援する専門職です。

○高次脳機能障がい者のコミュニケーション評価と関わり方

高次脳機能障がいによって引き起こされるコミュニケーション障害は多様です。その評価は主に会話を通して行うことが多いです。言語聴覚士は、その評価を基に、どのように関わればコミュニケーションが成立しやすくなるかを考えていきます。

今回は言語聴覚士の視点から、高次脳機能障がい（注意障害、遂行機能障害等）によって引き起こされるコミュニケーション障害に対する評価項目と実際の関わり方について御紹介します。

<言語聴覚士が評価する項目と関わり方の例>

①アイコンタクトが成立するか

⇒アイコンタクトが成立しやすい方向から話しかけます。身体を触って関わり手に注意が向くようにするのも良いでしょう。

②場の雰囲気や相手に合わせた適切な言動ができるか

⇒なぜそのような行動をしたのかについて聴きながら振り返りどのように振る舞えばよかったか確認しましょう。

③話し手と聞き手の役割交代が行えるか

⇒話題が変わった時に、「今は〇〇のことについてですか？」など、質問をいれて間をあけることで切り替えができ、会話が成立しやすくなる場合があります。

今回ご紹介したものはほんの一部にすぎません。その方にあったコミュニケーション方法について時間をかけて検討することが大切です。



もうすぐ
別れの季節ですね…

